

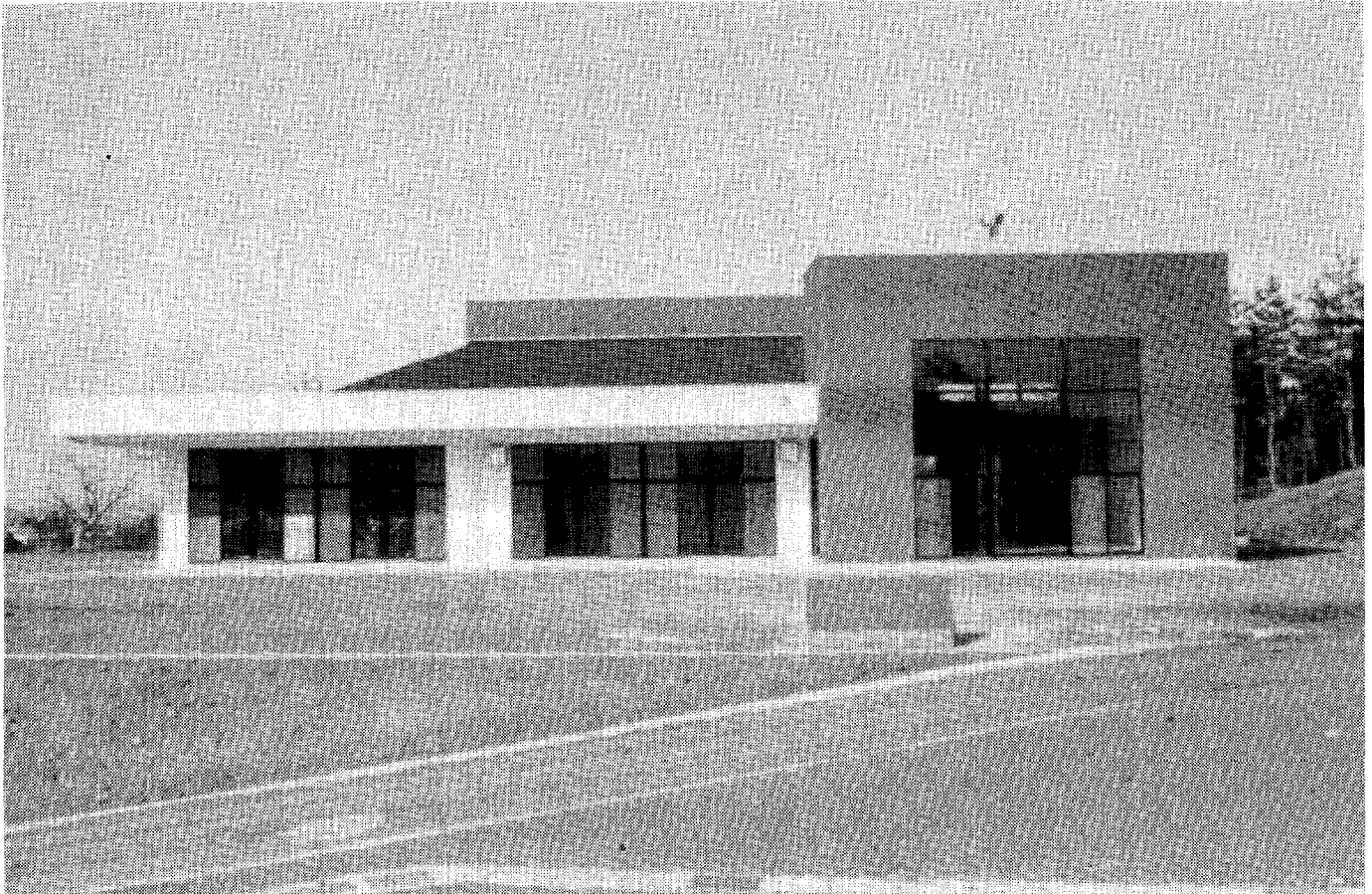
広報

こらた '83 4

臨時号

施政方針

発行・幸田町役場 愛知県額田郡幸田町大字菱池字黒方11番地
編集・企画課 ☎2-1111 (有)2458 印刷・岡田印刷所



オープン間近 さくら会館

幸田都市公園に併設整備されている地区文化広場の中心施設として、さくら会館が完成しました。このさくら会館は、県と町の共同事業で、芦谷字蒲野地内の幸田町が一望できる極めて風光明媚な高台に建設されたもので、5月中旬にはオープン行事が予定されています。

なお、この会館は文化、スポーツの複合的な拠点として、文化講座、教養講座など誰れでもが気軽に利用できる施設です。

その他、地区文化広場内にはシンボルタワー、テニスコート、はなのき広場なども整備され、町の大規模な公園として、年次計画に沿って整備されます。また、4月から午前11時半と午後5時に、チャイムを流します。

昭和58年度当初予算の概要

活力に富んだ住みよいふるさとを

総額77億6,479万円

一般会計
54億5,400万円(△1.3%)

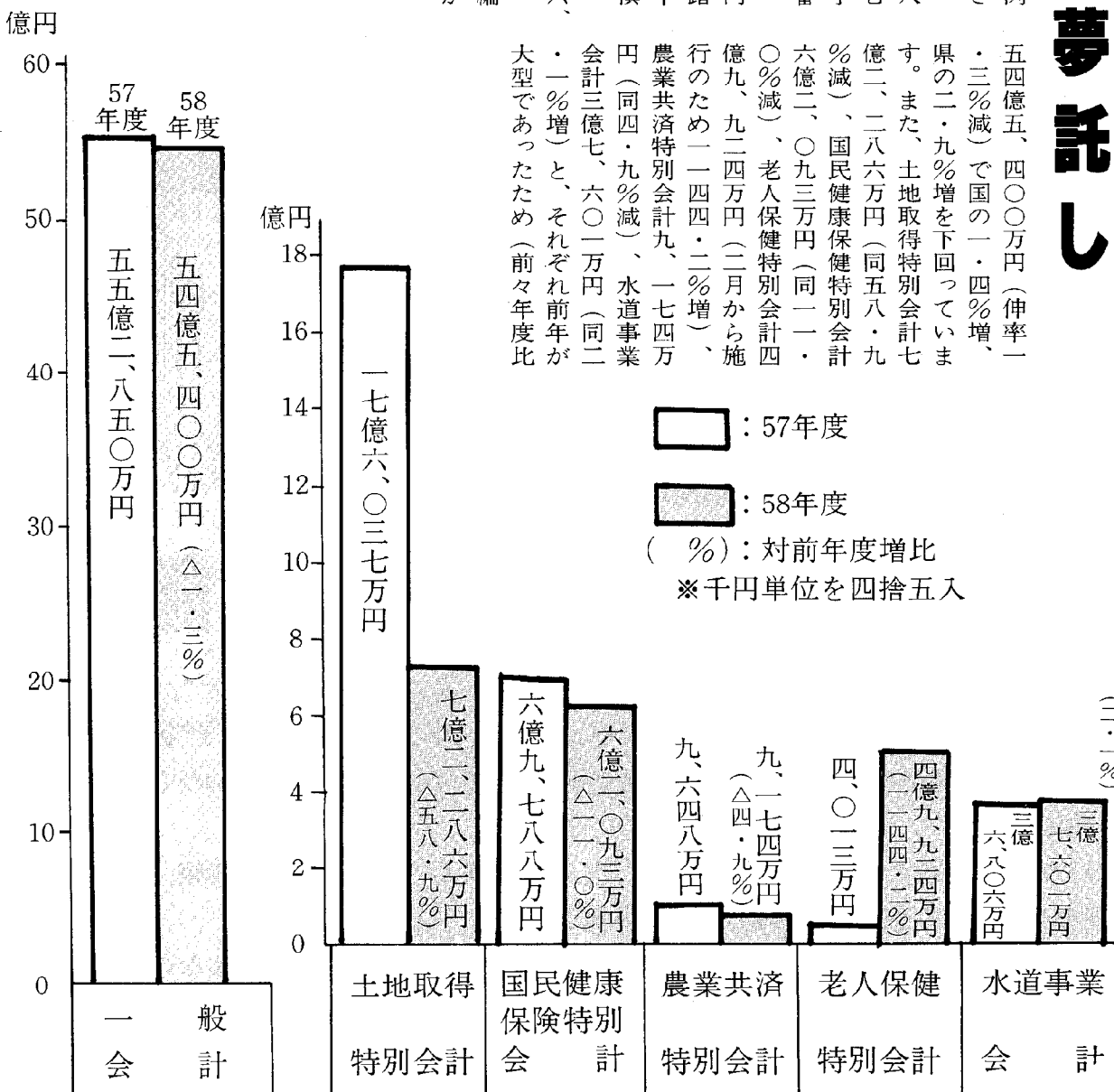
会計別予算額
(前年度比較)

昭和五八年第一回幸田町定例町議会は、三月一日に招集され、会期を三月二日までの三日間と定めたあと、昭和五八年度幸田町一般会計予算を含む総額七十七億六、四七九万円の前算など、二二の議案が慎重に審議され、可決されました。

昭和五八年度当初予算は、内外の経済情勢、臨調の趣旨を踏えて、厳しい状況の中にも昨年に引き続き「夢」を盛り込み慎重に編成されました。

予算規模は総額で約七十七億六、五〇〇万円、対前年比八・一%の減とした総合予算として編成され、会計別には一般会計が

厳しい中にも
夢託し



五十四億五、四〇〇万円(伸率一・三%減)で国の一・四%増、県の二・九%増を下回っています。また、土地取得特別会計七億二、二八六万円(同五八・九%減)、国民健康保健特別会計六億二、〇九三万円(同一一・〇%減)、老人保健特別会計四億九、九二四万円(二月から施行のため一一四四・二%増)、農業共済特別会計九、一七四万円(同四・九%減)、水道事業会計三億七、六〇一万円(同二・一%増)と、それぞれ前年が大型であったため(前々年度比

四二%増)主要会計において、イナスの編成となりました。

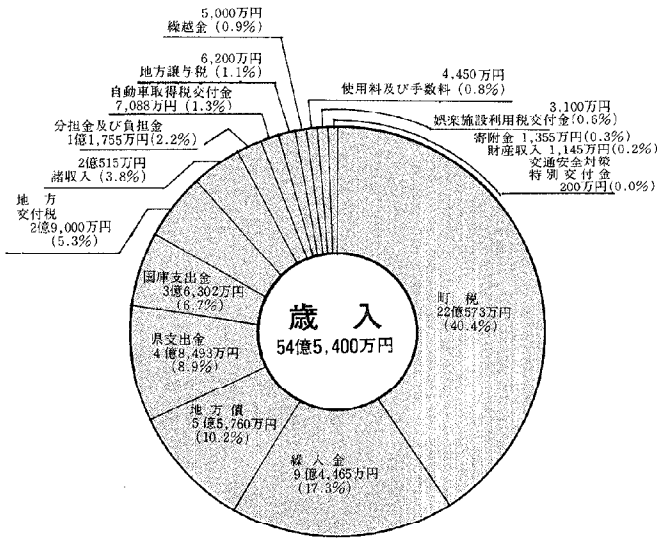
□ : 57年度
■ : 58年度
(%) : 対前年度増比
※千円単位を四捨五入

(二・一%)

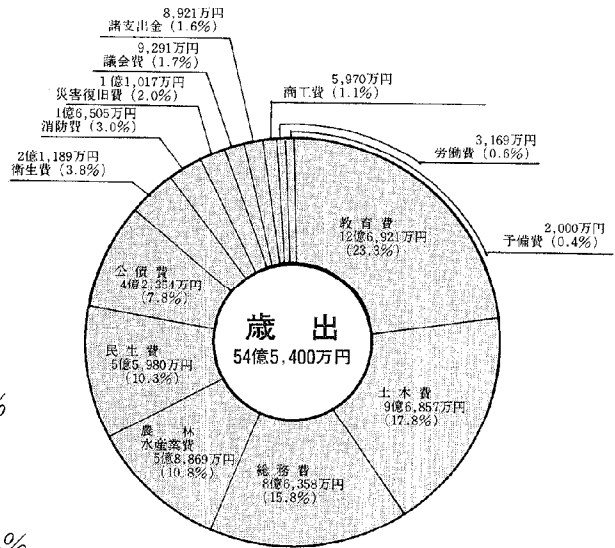
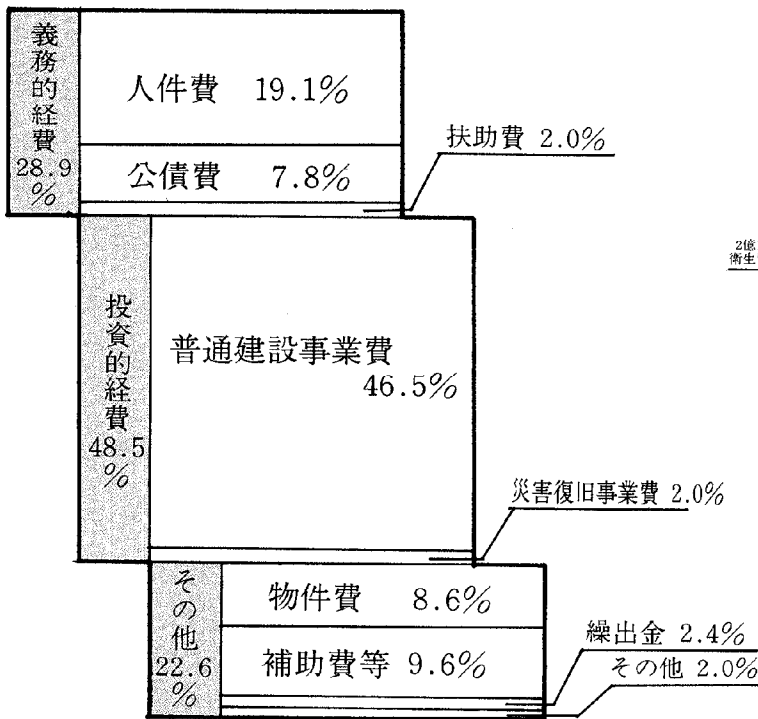
一般会計の概要

対前年度比で一・三%の減として編成された一般会計五四億五、四〇〇万円の概要は、歳入において税込二億五七二万円（前年伸率一〇・一%増）とこれに連動する地方交付税二億九〇〇万円（同四五・三%減）の一般財源及び、昨年新設中学校関連もあり、三三・一%減となった国庫支出金三億六、三〇二万円、筆柿選果場等農林水産業関連の県支出金四億八、四九二万円。

歳出については、町長の「施政方針と予算の概要」にありますが、主な内容は次の表のとおりです。特に、庁舎建設については、町民の英知と理解をもって創り上げる事業として三年間にわたり計上したものであります。



性質別内訳



用語

地方交付税

地方財源の保障制度として設けられており、その内容は普通交付税と特別交付税とに分けられ、総額は国税三税（所得税・法人税・酒税）の三十二%を一定の割合により配分されるものです。

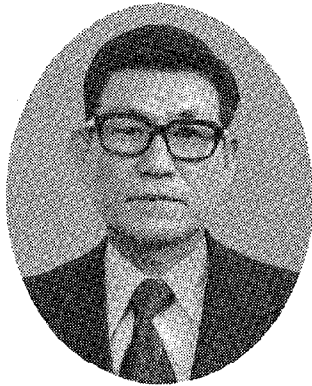
普通交付税

普通交付税は前記三二%の内九四%を、地方公共団体の状況に即し、その団体が標準的な行政を行うために必要な一般財源の額（基準財政需要額）が、標準的な税収等の額の概ね七五%の額（基準財政収入額）を上回る分を基準として、交付されるものです。

特別交付税

特別交付税は、普通交付税の画一的な計算方法を補定する役割を旨め、総額の六%を天災・地理的条件等地域の実情に即して配分されるものです。

昭和58年度 施政方針と 予算の大要



幸田町長 磯部光雄



新町30周年を目指し

町民の総意を結集して、

活力に富んだ、住みよい

ふるさと幸田を

わがふるさと幸田町は、昭和二十九年八月一日に額田郡幸田町と幡豆郡豊坂村と合併し、新幸田町が誕生して以来、早くも二十九年目を迎え、いよいよ明年は、三十周年の輝かしい記念すべき年を迎えます。

さて、昭和五十七年度においては、南部中学校校舎も完成し開校の運びとなり、幸田都市公園のさくら会館も完成し花の木広場の整備も進み、また懸案の役場庁舎についても一部敷地造成工事に着手することができました。

更に、区画整理事業も新規地区の発足を見、農業振興面にお

いても新農業改善事業によるハウス団地も竣工し、年とともに発展する幸田のまちづくりの基盤が更に前進できましたことは議会を始めとする町民の皆さんの御理解御協力の賜の感謝申し上げます次第であります。

幸田町の人口は今や二七、〇〇〇人を超え、毎年概ね六〇〇人の人口が増加しております。それゆえ新町の住民がより心のふれあいを高めながら、よき風習、伝統を発展させ一層住みよいふるさとづくりを進めることが必要であります。

町勢発展に伴う、義務教育施設や体育文化施設の建設整備と

住みよいまちづくりの為の下水道、市街化区域の整備等社会資本の充実が急務であり、併せて新庁舎の建設等財政需要は非常に巨額なものがありませんが今日は、「世界同時不況」という経済的な困難に直面しており、日本もまた前年度に引き続き低成長が続くものと思われまふ。国県における緊縮予算や経済界の動向は町の行財政にも深刻な影響を受けつつありますが総合計画に基づき計画的にこれら事業の推進に全力を傾けるとともに、南部中学校のプール建設、幸田中学校校舎の増改築を始め義務教育施設の整備、幸田都市公園の完成と本年度から新庁舎の建設は是非共着手したいと思ひます。

また、本年度中には坂崎大草地区の県営団地整備認可の目途をつけたいと思ひます。例年以上に大型事業の推進には誠に厳しい財政運営となりますが、町民憲章のもとこの五十八年は、町民の総意を結集し、新町三十周年を目指し「活力のある、誇りのもてる住みよいふるさと」幸田の町づくりのため、町民参加のもと英知を結集して人と自然と産業の調和のとれた町勢の発展を積極的に推進致したいと念願致しております。

予算編成方針と

その概要

さて、昭和五十八年度の予算編成にあたっては、前記の考えを踏まえながら五十七年度中における町議会一般質問、各区の要望、各種団体の要望等を十分検討し、厳しい財政事情のなかではありますが細部にも配慮いたし編成したつもりであります。

昭和五十八年度の予算規模は一般会計五四億五、四〇〇万円です。前年度に比し一・三％の減額です。七年度において南部中学校の建設の為教育予算が平年を大きく上回っていたためありますが、厳しい状況下極力緊縮予算の編成に努めました。

また、特別会計では、土地取得特別会計は七億二、二八六万円、前年比五八・九％の減であります。国民健康保険特別会計は、六億二、〇九三万円、昨年比一・一％減です。老人保健法の施行によるものがあります。

農業共済特別会計は九、一七



整備される庁舎用地

ここで一般会計予算を中心にその内容のあらましを申し上げます。まず歳入について町税の伸びは一〇％程度とし、公共料金については昨年に引き続き抑制に努め、寄附金についても地元負担の軽減に努力しました。町税、地方交付税、地方譲与税等の一般財源は三四億七、〇〇〇万円、歳入予算の六三・六％を占めており、町税は、五七年度当初比一〇％増を見込みましたが、町民の努力の結晶であります。課税には特に公平、適正を期したいと思います。保育料については、極力保護者負担の抑制に努めましたが運営費増高のため前年比五・四％増の負担をお願いすることと致しましたが、二人通園児については、D11階層までについて軽

<h3>歳入</h3>
<h4>町税の伸び10%</h4>
<h4>公共料金は抑制、</h4>
<h4>寄附金は軽減</h4>

減を図りました。

小中学校給食費についても今後賄費の値上りも予想されますが、今回は現行賄費を据え置くことと致しました。

使用料、手数料についても駅西駐車場使用料を含め現行のままと致しました。

次に国・県の支出金について

は八億四、七九四万円、そのうち主なものは、新規は中学校建設費一億一、七二四万円、筆柿選果場七、五六二万円、農村モテル事業九、六五〇万円、新農業構造改善事業三、九三〇万円、災害復旧費八、五三八万円です。

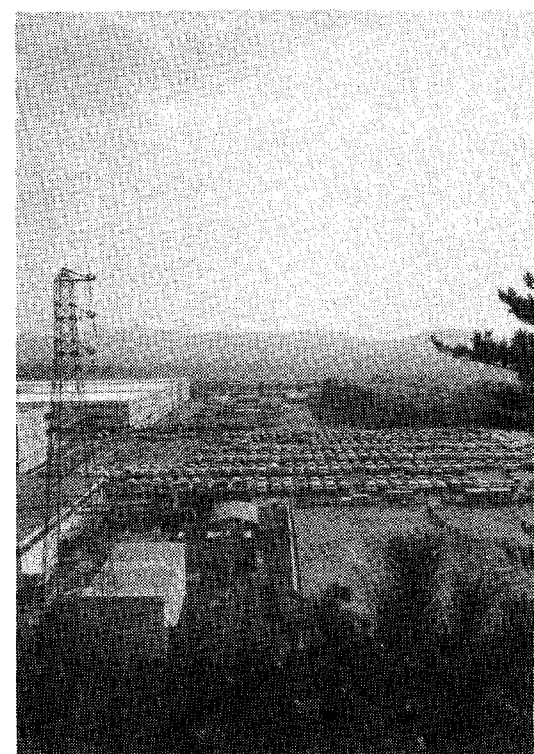
土地改良事業、産業振興関係等においては、その受入れ体制を十分整え計画的に国・県の補

助事業の導入に関係者とともに努力したいと思います。

寄附金については一、三三五万円、昨年比三六四万円の減で、年々負担の軽減を図っておりますが本年は土木における災害復旧工事費の地元負担を廃止し一層町民の要望に応えるよう配慮いたした次第であります。

町債については五億五、七六〇万円を予定しましたが、これは中学校建設三億一、五〇〇万円、庁舎建設一億五、三〇〇万円、農業基盤整備四、一〇〇万円、災害二、〇〇〇万円等を計上したためであります。

繰入金については財政調整基金一億円、土地開発基金六億四、四六五万円、庁舎建設基金二億円を繰入れることと致しました。



歳出

将来を展望し

庁舎、教育施設、社会基盤

の整備に全力

一方歳出については、一般会計五四億五、四〇〇万円のうち義務的経費である人件費、扶助費、公債費は十五億七、六五五万円で歳出総額の二八・九%、建設事業費は二五億三、六一五万円で四六・五%であります。また物件費は四億六、七七二万円で一・四%の減額と致しました。

一方目的別には、総務費は八億六、三五八万円を計上しましたが、これは庁舎建設費四億九、〇〇〇万円を計上したためです。教育費十二億六、九二一万円は構成費二三・三%であり、民生費五億五、九八〇万円は一五・六%の減であります。これは老人保健会計のためであります。

衛生費は一億一、一八九万円であり一二・二%の伸び率で環境衛生健康づくりのため努力致しました。

土木費の伸びは二〇・六%であります。都市公園用地買戻し三億六、七九五万円を除くと六億六〇万円となり、昨年度町営住宅建設費を除いた額にはほぼ同額となり平年度並みとなります。農林水産業費は五億八、八六九万円です。昨年比一二・九%増であります。筆柿選果場、圃場整備計画費等によるものであります。

これらの予算の執行に当っては、行財政改善調査会の答申を尊重し、一層経費の節減、効率化と行政の合理化を図って行く所存であります。



深溝西部公民館完成予想図

重点施策

昭和60年度を目途とした町の総合計画を踏まえ住みよい豊かなまちづくりに全力

昭和五十八年度における施策は昭和六十年度を目途とした町の総合計画を踏まえ、将来展望の中で義務教育施設の整備、幸田都市公園整備、庁舎建設、県営圃場整備、区画整理の推進等社会基盤の整備、農業を始めとする産業の振興を町民とともに推進し、住みよい豊かなまちづくりに全力を挙げたいと思えます。重点項目としては

- 一、人間性豊かなまちづくりのため教育施設の整備と幸田都市公園（地区文化広場）の推進
- 二、健やかなまちづくりのためスポーツの振興と予防医療の充実
- 三、心の通った谷間のない福祉の推進
老人・母子・障害者・児童福祉の充実
- 四、緑を大切に安全で災害に強いまちづくり
緑化推進、交通安全、防犯、生活環境の整備
- 五、豊かで活力あるまちづくりのため
土地基盤整備と産業の振興
- 六、新しい計画的なまちづくりのため
市街化区域の整備、街路の整備
- 七、合併30周年を記念し
新庁舎の建設着手
- 八、近隣広域行政の推進

第1の施策

人間性豊かなまちづくりのため

教育施設の整備、幸田都市公園 (地区文化広場)の推進

まず、第一の人間性豊かなまちづくりの為の教育施設の整備充実については、昭和五十七年度において南部中学校の建設、開校となりましたので引き続き本年はプールの建設、環境整備、備品の充実のため九、二七四万円、幸田中学校建設工事二億八、六九一万円、備品二、七七七万円を計上致しました。

また、深溝小学校等の運動場拡張工事、荻谷小学校拡張用地費と造成工事費等一億四、一四八万円を計上し、体育館建設に備えたいと思います。更に、中央小学校校舎の増築は本年度設計、五十九年債務負担で本年度後半より着工致したいと思っております。

幸田都市公園については、五十七年度に県と一体となって地区文化広場を造成し、その中心施設として婦人、青年の研修の会館を建設しましたが、本年は二、〇〇〇万円で子供遊園地を整備し、町の中心部に近く気軽に楽しみ、心のふれあいのでき

る公園にしたいと思っております。

社会教育施設として深溝西部公民館を五、六六三万円建設し、深溝市街化区域の住宅増加に対応した集会、社会教育の充実を図ることとしました。また、町民の和と連帯をモットーに町民の皆さんと共に考え、実践する町民参加の町政を展開するため各種学級講座等の開設に力を注ぎ各地区におけるコミュニティ活動、ライフサークル(ふさと運動)運動の一層の推進

第2の施策

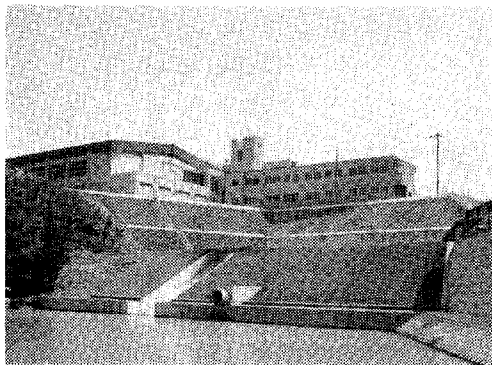
健やかなまちづくりのため

スポーツの振興と

予防医療の充実

第二は健やかなまちづくりのためのスポーツ振興であります。若者には希望を、老人には健康を、一般には生活を豊かにするため町民こぞって活力ある郷土づくりを目指す「町民総スポー

ツ運動」はコミュニティ活動と相俟って、年々盛んとなり地区、職場に定着してまいりました。本年は、地区文化広場にテニスコートと運動場を、勤労者体育センターにもテニスコートが



を図ってまいりたいと思っております。なお、文化活動の一層の発展のため文化協会の活動費補助、教育文化講演の充実、婦人会青年会組織の拡充強化に努力するつもりであります。私立幼稚園への補助金は七六八万円を計上しました。

完成し、また屋内体育施設については、中央小学校、勤労者体育センターに加え、南部中学校の体育館も完成いたしましたのでこれらの施設の有効的な活用を願う更には三河ハイツの健康管理棟、岡崎市土地町にこの程完成しました愛知県勤労福祉会館の利用も増進し屋内スポーツの振興もより盛んにしたいと考えておりますが、なお一層の施設整備のため横落公共用地への総合体育施設の基本設計費を計上しました。また広田川、相見川合流点約一・五分の河川敷を河川環境整備事業とし県に要望し、そこにスポーツ施設を造る計画も今後進めたいと思っております。社会体育の指導充実については体育協会の充実、体育指導員の増員、地区スポーツ委員活動の充実と共に地区スポーツ大会と婦人会活動としての各種スポーツの奨励を始め各種団体、各職域におけるスポーツの発展を図っていく所存であります。また、町民こぞって参加する町民大運動会、新年を飾るマラソン大会、親子で参加する歩け歩け運動等を更に盛りあげていきたいと思っております。

次に健康づくり推進については、予防対策費二、九二四万円(前年二、〇〇七万円)を計上、老人保健事業、成人病健診事業の一層の充実を図りました。また今回竣工した岡崎市医師会公衆衛生センターにおける健診も有効に活用できるよう、今後配慮してまいりたいと考えております。救急医療対策としては二四七万円を計上し、また、母子健康センターを軸として母子の健康管理診断等一、七六八万円を計上し、老人健診については老人福祉センターにおける健診を充実、予防対策のため体制の充実整備に努めます。更に環境衛生、公害対策等についても七一九万円を計上し、市街地における雑草対策を始め、昨年に引き続き祖先を敬い感謝する気風を醸成するため既設公共墓地を整備し、拡充する工事に対し整備費補助を計上しました。今我が国は高齢化が急速に進行し、また、社会の進展に伴い成人病対策は非常に大切なときでありますので町民においても簡素な生活と自己の健康管理に十分な努力を払って頂くことが大切ですが、町としても来年度保健センターを改築する予定でその設計費三〇〇万円を計上することと致しました。

第3の施策

心の通った谷間のない福祉の推進

老人・母子・障害者・

児童福祉の充実

第3の心の通った谷間のない福祉行政の推進であります。そのため社会福祉関係の民生費は総額五億五、九八〇万円であります。

我が国の高齢者人口は八〇年代を迎え、急激に増加しております。これらの方々が健康で生きがいのある老後を送られるためには、町民が老人を敬い、大切にする気風を育てるとともに老人福祉センターを中心とした健康管理と陶芸、民謡等の趣味

とスポーツを奨励する生きがい対策費は高齢者能力活用推進事業の一層の充実を図り高齢者の永年の経験を生かし、社会にも引き続き貢献して頂くための予算を含め九八六万円を計上しました。

老人福祉センターを中心にした老人健康対策費は五、七九九万円のうち医療扶助費二、一三〇万円であり、本年もねたきり老人入浴事業を予定しました。この事業費九六万円を含め在宅ねたきり老人対策費は四七七万円であります。

次に心身障害者対策費については、自立と参加の通所授産所事業に二八七万円を始めとして保健対策二、〇九六万円、スポーツ大会等対策事業費一三六万円を含め二、五二〇万円を計上し福祉の向上を図りました。

母子福祉には、母子医療扶助費等八〇四万円、福祉対策事業九五万円等、総額八九九万円であります。

これからの我が国を担う児童



第4の施策

緑を大切に安全で災害に強いまちづくり

緑化推進、交通安全、防犯、

生活環境の整備

の福祉については、保育園における乳児保育と延長保育は今年で三年となりますが、今までの経験をもとに一層よりよい保育を目指したいと思えます。保育事業費は乳児一八〇万円を含め総額三億二、四一八万円が昨年より一、二四三万円の増となっております。

乳児医療扶助一、〇九五万円、児童手当支給事業四、八五七万円であります。乳幼児の健康管理等十分に気を配って頂き、これらの費用が立派に生かされる

よう願います。犯罪の低年齢化、子どもの非行が大きな社会問題となっているとき、子ども会の果す役割、必要性は非常に大きな意義がありますので子ども会の育成補助の増額を図り自主的活動を基調として仲間づくりと責任感、協調性を育て少年時代のよき思い出活動、情操を育てるちびっ子広場等七四九万円、育成補助一二一万円、児童館運営費五〇七万円を含め総額七、三二九万円を計上しました。



第4に緑を大切に安全で災害に強いまちづくりであります。恵まれた幸田町の自然を大切に、町民参加で、河川敷の美化、道路をきれいに、ゴミと雑草の少ない町と自家菜園と水田裏作を奨励し、緑の美しい環境衛生の行きとどいた町づくりを目指し、松くい虫防除事業二、九三三万円、麦作振興対策費五、九七三万円、若がり農園一、〇〇〇万円、緑化推進事業費二、五〇〇万円、生垣奨励五〇万円、河川愛護事業一八〇万円、雑草草刈三〇万円、河川水質調査二〇〇万円、粗大ゴミ処理二一〇万円、不燃物・可燃ゴミ処理委託料等三、七八七万円、廃品回収補助一一一万円、ゴミ焼却炉補助二五万円、ゴミステーション二五万円、ゴミ籠三六万円、し尿処理費三、七六八万円等を計上しました。「資源を大切に町を美しくする運動」を今年も一層推進致したいと思えます。

また、省エネを推進するため、昨年に引き続き太陽熱温水器の設置補助二八〇万円を計上しました。

一方、みんなで交通事故をなくそうを念願に、交通安全対策をさらに進めたいと思えます。毎年、交通安全週間等には交通指導員、婦人会を始めとして各

種団体の役員の献身的な協力を
 いただいておりますが、運転手
 の自覚、歩行者等の注意が大切
 であるので、その啓発指導に五
 〇七万円、併せて交通安全施設
 の整備に五〇〇万円を計上し、
 交通事故の減少のため努力を致
 します。

次に、青少年を非行から守り、
 犯罪のない町づくりのため防犯
 灯設置費補助を含め防犯活動推
 進費二七二万円を計上しました
 が、近年の校内暴力、非行少年

の低年齢化は誠に憂えるものが
 あります。二一世紀をなう青
 少年を、家庭と学校と地域が一
 体となって、非行、不良化から
 守るため、「よいことをほめ、悪
 いことを叱ろう」の運動を、強
 力にきめ細かに推進するととも



に、青少年問題協議会を始めと
 して婦人会、区長会、PTA、
 各種団体と根気強く真剣に取り
 組んでまいりる所存であります。

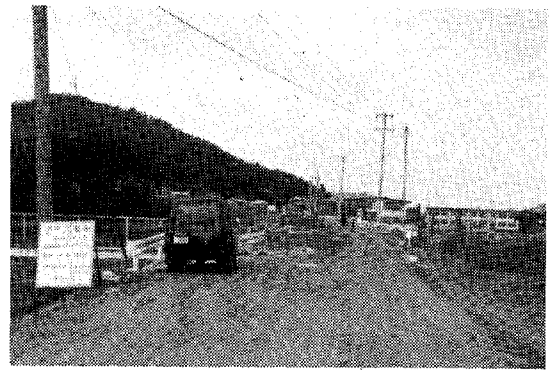
家庭排水と浄化槽については、
 点検、機能保全等を徹底し、し
 尿汲取り業務についても一層適
 正な指導をしていきたいと思っ
 ますが、快適な生活環境保持の
 ためには、流域下水道の早期実
 現が急務でありますので、関係
 市町とともにこれらの推進に努
 力したいと思っております。

また、都市下水路の整備につ
 いては、本年七、九五八万円を
 計上し、前田川を始め四か所、
 一般排水路二か所の整備を行う
 予定であります。

一般道路改良一〇路線一億六
 四〇万円、生活道路の舗装側溝
 は五、五〇〇万円で、道路修繕
 三、三五六万円は主として親切
 行政により実施し、また、市街
 化区域内の道路整備十三か所三
 七六〇万円で環境整備に努力す
 る考えであります。

通学路の整備については、南
 部中学校への野場上六栗線を始
 めとして、三路線三、〇〇〇万
 円を計上しましたが、これらは
 何れも用地を伴うものであり、
 関係者の協力を特にお願する
 ものです。

次に災害のないまちづくり



については、昨年八月の集中豪雨
 により甚大な被害を被った本町
 にあつては最も重要な課題であ
 ります。この時の被害は、公共
 土木関係の河川、道路において、
 県管理を含め一四七か所四億八
 〇五二万円、農地関係三十一か
 所二、一二〇万円、農道等農業
 施設一一六か所一億六、三五二
 万円、林道十四か所三、一二四
 万円、合計三〇八か所六億九、
 六四八万円の多きに達しました

四一〇万円、一般治山三か所五
 三六万円、災害関連五か所三、
 〇四二万円の工事を併せて認可
 をいただいたわけで、関係者の
 努力に厚く感謝を申し上げる次
 第です。

本年は、この残事業の復旧工
 事一億一、〇〇〇万円の早期完
 了にまず努力するとともに都市
 下水路、湛水防除事業一億円、
 緊急農地防災事業二、三五〇万
 円、老朽溜池工事一、五〇〇万
 円、農村モデル事業による圃場
 整備八、〇〇〇万円等、単県土
 増改良事業四、四三〇万円等の
 土地改良事業、計二億九、三〇
 四万円（県費、県補助を含む）
 の事業実施と、足後川改修三、
 一一〇万円、河川浚渫一〇〇万

円を実施致し、河川美化と併わ
 せ広田川、相見川合流点の浚渫
 改修を県に要望し、災害に強い
 町づくりを全力を挙げる所存で
 すが、根本的には広田川、捨石
 川、柳川等の改修がなされなけ
 れば問題は解決致しませんので、
 圃場整備等の事業とも併せて、
 町民の協力のもとに強く早期改
 修を県に要望してまいります。

なお、災害、火災から町民の
 生命と財産を守るため、消防力
 の充実と地域防災組織の一層の
 整備を推進するため、消防費に
 ついては一億六、五〇五万円、
 昨無比四・五％、七〇九万円を
 増額計上し、防火水槽五基、消
 火栓四基等の施設整備と水防の
 強化に努めました。



第5の施策

豊かで活力のあるまちづくり 土地基盤の整備と 産業振興

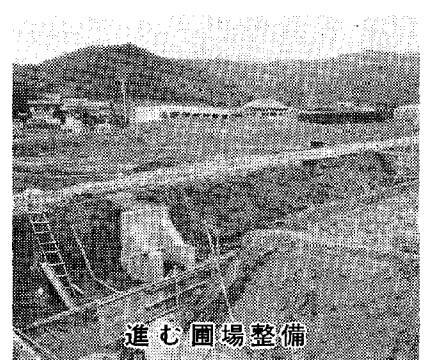
第5の豊かで活力あるまちづくりであります。

農業を取り巻く情勢は、自由化、貿易摩擦等、誠に厳しいものがありますが、農業及び農村のもつ使命は、今も非常に公益的で重要なものであります。国民の食糧の確保とともに、国土保全、地域産業の担い手であり、地域文化の継承者であり、日本人の魂のふるさとであります。この農業を大切にし、時代に対応した生産性を挙げ、農家所得の安定のためには、まず第一に土地基盤の整備が急務であります。

そのための土地基盤整備については、農村モデル事業による圃場整備四か所九・〇％、稲作転換関係一か所二・四％、新農構事業による圃場整備三・五％併せて六か所一二・五％、事業費一億六、〇三〇万円を実施し、矢作南部農地造成事業一億円、湛水防除事業一億円、一般農道須六線一億一、〇〇〇万円に加え、本年長嶺地区一、六七七

が採択予定であり、その用地二、二〇〇万円、老朽溜池工事関係一、九〇〇万円、計三億八、七

費五、八三、七万円を計上し、単県土地改良事業は十五地区四、四三〇万円のうち町費一、一二五万円の予定で推進いたします。特に矢作農業用水南部幹線工事の進捗に併せて、用水利用の稲作転換の推進、近代農業への基盤作りのため圃場整備の一層の推進を図り、坂崎大草地区三五八％の調査設計費五、〇〇〇万円を始めとし団体宮拾石地区五〇％一、四五〇万円、単独圃



進む圃場整備

場整備小杉山四〇〇万円を計上し、五九年度着工を目指します。農業振興については米の生産調整は前年目標より十四％減の一八〇％であります。

水田再編対策と農地利用増進対策事業に積極的に取り組む、この補助制度により、いちご、なす、筆柿を中心に特産物の産地化を奨励し、一方大豆、麦の集団栽培を定着させなければなりません。そのため五十七年度から町を挙げて互助制度による麦作集団栽培の推進を図っておりますが、その所要額の一五五％四、二六三万円のうち五九七万円の補助を計上し、いちごについては優良株隔離育苗事業三〇〇万円、なすについては昨年

に引き続き農業構造改善事業でハウス団地九、一四〇㎡事業費約八、〇〇〇万円で、筆柿については落葉果樹産地整備事業で選果場を一億六、五〇〇万円で建設し、選果能力を高め消費宣伝と併せて産地の振興を図ります。

以上の農業振興の施策を通じて農家の生産意欲の向上を図り、町の活力を高めたと思います。林業費は七、一九六万円であり、特に松くい虫の防除に二、九三八万円を計上した外、造林補助五四〇万円、特用林産物生産奨励事業一七三万円、地区緑化一二〇万円を、林道は須美南山線の開設を始め二、九〇三万円が主なものであります。森林は祖先が残してくれた民族の基

本財産で、「子孫の繁栄を思えば林木を培養せよ」と故人は教えています。森林のもつ公益性を重視し、ふるさとの山をより美しい緑の山にするともに内



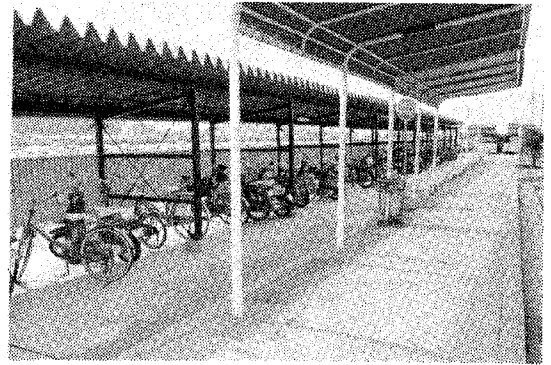
不動ヶ滝キャンプ場

地木材のより利用と林地の生産性を高める努力と併せて森林資源を基にする椎茸栽培の奨励も積極的に致したいと思います。次に商業の振興については、「買物は町内で」の運動を商工会を中心に進め、町内利用を高め販売額の向上を図る一方、町内企業との連帯性を強める努力をするとともに、幸田駅前再開発構想は新幹線問題と関連して推進し、五十七年度の実態調査に引き続き構想の具体化への計画費と推進補助費を計上しました。また、三ヶ根駅前集積化、道路改良を進めたいと思います。これら商工振興費は三、七二

万円で前年比五三七万円の増であります。なお、区画整理事業もそれぞれの地区において進展してまいりましたので、これらに対して商工会の積極的な対応を望むものであります。

観光事業については、不動ヶ滝周辺の整備、永野公園整備補修を実施し町民の憩いとレクリエーションの場所に資するため一、一八五万円を計上しましたが、不動ヶ滝周辺の野外キャンプ施設を積極的に活用されるよう働きかけたいと思います。さらに企業については、第一、第二工業団地とも概ね順調で工場従業員も充実してきておりま

(11)



す。これら企業が町及び地域と十分な連帯感のうえに町民の雇用安定拡大と所得増進とともに、企業が安定した生産活動に励むことのできるよう連絡を密にし、職域スポーツ奨励のため勤労者体育センターの高度利用とともに、企業も町の行事、運動会等に積極的に参加されることを期待するものであります。

なお、幸田町は東西三河の交通の要衝としての地の利から企業の進出立地が予測されるので、町の総合計画と土地利用計画を十分勘案し、さらに関係住民の協議を得て慎重に対処し、併せて町内中小企業の団地造成の推進を前向きに研究したいと考え、推進費約一〇〇万円を計上しました。

次に町内企業、勤労者、通勤者のための労働費については、本町内企業の活発化に伴い勤労者も増加し、町税に占める給与所得の比重も年とともに増大していることに鑑み、本年度も勤労者体育センター運営管理を始め新規就職者の歓迎会を始めとする労務対策事業、通勤対策として駅西駐車場の適正管理と勤労者住宅資金融資事業に加え、勤労者生活資金融資事業を昨年度から新たに発足させました。これら労働費の総額は三、一六八万円を計上しました。

第6の施策

新しい計画的なまちづくりのため

市街地の区画整理と

街路の整備

第6に新しいまちづくりのための市街化区域の整備であります。

幸田町は中京都市圏に含まれ、近年、人口並びに産業の進出が著しく文字どおり都市化が進んでおり、都市計画のねらいとする農林業との健全な調和、健康で文化的な都市生活及び機能的な都市活動の確保を急がねばなりません。

社会ニーズに対応した都市施設等諸施設を効果的に運用することであり、特に新年度予算にあたっては、まさに「都市計画の母」とも呼ばれる土地区画整理事業の推進や公園及び都市水路等根幹的施設整備をすすめ都市問題の解決を図るべく内容といたしましたが、幸い里前地区の事業認可、三ヶ根南、仲田、駅西の地区において組合設立が確実となつてまいりましたので、



幸田深溝土地区画整理記念碑

都市の抜本的整備のために

土地区画整理事業の推進費
三ヶ根南、里前地区事業費助成 四、〇〇〇万円
芦谷、幸田駅西地区認可申請、駅前再開発計画協議 二六〇万円

機能的な都市交通のために

都市計画街路、区画路の整備費
野場横落線、広野山添線、幸田萩線、三ヶ根線 三、七五〇万円

衛生的な街づくりのために

市街化区域内生活道路整備 十三か所 三、七六〇万円
矢作川流域公共下水道建設事業負担金 五五九万円
安全な都市環境のために 都市下水路整備費
田多美川、前田川第一及び第二、中々川下水路 七、〇六六万円

住民の健康と文化向上のために

一般排水路 大西、三ヶ根北、二か所 八〇〇万円

幸田都市公園整備

二、〇〇〇万円

特に永年の懸案でありました錦田ガードの改良工事について、事業計画が認定されましたので、これの早期完成を強く国、県に要望してまいります。

なお、大草山添、横落長根、野場十六鈴の地区について農住型土地利用転換計画の研究を引き続き進め、その他の地区については地区市街化区域整備促進委員会を中心に整備を進め、また坂崎北部地区については、今後継続的に区画整理を前提とした土地利用計画の策定を進めたいと思ひます。

一方、圃場整備済及び既成集落地区については、その区画を生かし、できる限り事業費の節減を図りつつ、マスターに沿った道路等の整備を促進するため、十三か所三、七六〇万円を計上しましたが、市街化区域整備促進委員会を中心に関係者の協力により促進を図る所存であります。

また、幸田駅前地区の商業地区については、公共施行区画整理を前提に各種助成措置を取り入れ、実施する方向で一層の具体化を図つていくため計画協議、推進補助を計上しました。

ローマは一日にしてはなりません、計画的に根気強く取り組んで住みよい新しいまちづくりを進めていきたいと思ひます。

第7の施策

合併30周年を記念し新庁舎の建設着手 建物の老朽化、手狭、 町民の利便を考慮

第七に合併三十周年を記念し新庁舎の建設に着手したいと思
います。

ヨーロッパの都市の市庁舎の前には必ずといわれるほど広場があると聞きます。市庁舎とその広場、これが都市の長い歴史において、自治を語り、自治を論じ、そして都市存亡の時その危機を救う広場ともなりました。市庁舎は都市とともに、市民とともに歩み、市庁舎の建物は市民に対して都市のもつ歴史、伝統、文化を語り、市民はまたこの建物から与えられたその物語を親から子へ、子から孫へと語り伝えてきたのでしよう。市庁舎はその偉容を保ちつつ、やさしく親しみ深く、そして同時に厳しく市民と無言の対話を重ねています。市庁舎が権威をもち都市の象徴となっているのは、正にこうした歴史に由来する重味であり、市民の心のふるさととなっているからに外ならないと私は思います。

最も古く、建物も老朽化し狭く、事務能率、職員の健康管理の面からも、また町民にとっても不便となつてきておりますので、財政的に厳しい時期ではありませんが、合併三十周年の記念事業として、今年から着工したいと考へ、事業費総額は概ね一六億円を予定し、昭和六十年八月完成を目指し、本年度予算において約四億八、九〇〇万円を計上致しました。今後、議会を始め各方面の御意見御指導をいただき、十月頃までに設計を行いたいと思ひますが、先程申し上げたヨーロッパに比し、地方自治も浅く、また敷地に制約もあり、財政的な困難さを考へると、ヨーロッパの市庁舎のように到底及びませんが、できる限り新庁舎が町民の心のふるさととなり、町民生活の中心として町民に親しまれ、愛着と誇りのもてるような新庁舎の建設を致したいと思ひますので、町民の皆さんの御理解御協力を切望するものであります。

なお、三十周年記念に向けて、本年度町史追録を兼ね記念史編集費五〇万円を計上しました。今後、記念行事のあり方等については、皆さんに御相談をいたし二七、〇〇〇町民が参加し喜

第8の施策

近隣広域行政の推進 新幹線三河駅、広田川の改修、 国営矢作農水事業など

幸田町は、岡崎、西尾、蒲郡市等と境を接し、それぞれに歴史的にも深いきずなで結ばれておりますので、近隣市町との信頼、友好を深め、相互理解に基づく広域行政の円滑な推進が、町勢発展の上からも極めて大切であります。

まず、新幹線三河駅の問題であります。期成同盟会加盟の九市六町が一体となって建設を実現しなければなりません。この地域にとって教育、文化、商業、農業、観光の発展の上にこれ程の大事業はまたとなく、加えて幸田町は、東海道本線と新幹線が幸田駅で交差しているという地理的条件を備えております。関係市町と手を携えてその実現を目指し、最善の努力を致したいと思ひます。

また、新庁舎建設に併せ電算機の更新の予算七八六万円を計上し、事務合理化、町民サービスの向上を図りたいと思ひます。

広田川の改修は、町の治水、防災上から、早期進捗をどうしても図らなければならぬ重要な課題であります。これも単に一市一町でできる問題ではありません。広域的に強力に推進しなければなりません。

さらに、国営矢作農水事業、矢作川公共下水道の工事促進、衣浦蒲郡線、名豊道路の工事促進等それぞれ関係市町とともに強力にこれらの推進を図ってまいりたいと思ひます。

また、国・県等の連絡を密にして国・県道、県管理河川等の改修、改良は、町民の生活、児童の通学通園、生産活動に直結した願望であり、特に蒲郡競艇による深溝の国道二四八号線のスラッシュの改良は目下の急務であり

結 び

対話を深め心のふ れあう町政をあなた の意見を町政に

昭和五十八年度予算の概要と施政の方針について述べましたが、合併三十周年を前にしたわが幸田町は、まだやらなければならない事業が山積しており、圃場整備、区画整理等何れも緒についたばかりという状況であります。

今後、議会の皆さんと意見調整をしたり、町民との対話を深め計画実行してまいる所存であります。心の通った暖かい行政を職員とともに心掛け、職員の英知を結集し、責任と信頼、活気ある職場のもとで一丸となつて全力を挙げてテーマの「活力ある住みよいふるさと幸田」の建設にまい進する所存であります。